

令和元年度 総会および講演会

日時

令和元年

5月23日 木

- 13:30 ~ 14:45 第一部 総会 * 会員様のみ
- 15:15 ~ 16:55 第二部 講演会 * 一般参加も可能
- 17:30 ~ 19:00 交流会 (別会場にて)

会場

リファレンス 駅東ビル 2階 T会議室

福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16-14
<http://www.re-rental.com/ekihigashi/access/>

参加申込

詳しくは裏面または下記 URL をご覧下さい
<http://unit.aist.go.jp/kyushu/amic/index.html>



13:00 ----- 第一部 総会 (受付開始) -----

議事次第:

13:30-14:45 総会

13:30-13:35 開会挨拶 製造技術イノベーション協議会 会長 / 産総研 エレクトロニクス・製造領域 製造技術研究部門 副研究部門長 秋山 守人

13:35-14:45 議案: 平成 30 年度活動報告、令和元年度活動方針および活動計画 (案) 他

14:45-15:15 (休憩) -----

15:00 ----- 第二部 講演会 (一般参加 受付開始) -----

15:15-16:55 講演会

15:15-15:20 講演会開会挨拶 製造技術イノベーション協議会 副会長 / 産総研 九州センター 所長代理 野中 一洋

15:20-16:00 講演 1 「人工の手と AI ~製造技術への応用を目指して~」

佐賀大学大学院工学系研究科 教授 福田 修 様

概要

我々が生活する社会では、近い将来、全ての人やモノがインターネットでつながり、様々な知識や情報が共有され、また人工知能 (AI) により、必要な情報が必要な時に提供されるようになっていわれています。製造工場や物流の現場で稼働するロボットにおいても、今や情報や AI は核となる要素技術です。我々はこれまでに、人間の手に匹敵する人工の手の実現を目指して研究を行ってきました。これらの研究でも、AI や IoT に代表される近年の情報技術の進化が、従来にはなかった新しい展開を与えてくれています。本講演では、過去から現在までに取り組んできた研究の一端をご紹介します。製造技術への応用について展望できればと思います。

16:00-16:30 講演 2 「クルマづくりにおけるデジタル技術活用 (仮)」

株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング 技術開発室 室長 安田 勝治 様

概要

TPEC (トヨタプロダクションエンジニアリング) が進めている、最先端のデジタルを活用した『もっといいクルマづくり』のための技術開発をご紹介します。近年の車両開発では「Virtual 検証」による、品質の向上や開発期間の短縮が期待されており、実現象の可視化とデジタルで解析 / 予測する「可視化技術」の開発を TPEC で進めています。本講演では「可視化技術」の活用を、適用事例と共に紹介します。

16:30-16:50 講演 3 「『サイバーフィジカルシステム研究棟』と『柏センター』新設の紹介~今年4月から本格稼働~」

産総研 製造技術研究部門 副研究部門長 秋山 守人

概要

産総研は新たな研究施設である「サイバーフィジカルシステム研究棟」と「柏センター」を構築しました。「サイバーフィジカルシステム研究棟」では、AI 技術およびロボット技術が融合し、さまざまな機械が人と協調し、人を支援する「人・機械協調 AI 研究」を推進します。「柏センター」では、医療・介護分野などさまざまな個別分野データの①収集・管理、②解析、③2 次提供を行うデータ基盤の構築や、AI 技術を搭載した機器などの試作・実証・評価環境の整備などを通じ、Society5.0 の基盤をなす、人がもつ感覚や運動機能を補綴 (ほてい)・拡張・増強しようとする学術分野である「人間拡張技術」を中核とした研究を推進します。

16:50-16:55 閉会挨拶 製造技術イノベーション協議会 会長 / 産総研 製造技術研究部門 副研究部門長 秋山 守人

17:30-19:00 交流会 会費: 3,000 円 / 人 会場: 益正・博多駅筑紫口店 福岡市博多区博多駅中央街 1-1

主催
問合せ

製造技術イノベーション協議会 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター)
事務局 k-amic-ml@aist.go.jp / TEL: 0942-81-3590 / FAX: 0942-81-4089

定員 70 名
講演会参加無料
(交流会は有料)